

鹿児島県漁海況週報

令和元年9月19日発行(9月12日～9月18日)
第2820報(旧暦:8月14日～8月20日/月齢:12.7～18.7/潮汐:大潮～中潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、9月17日現在、竹島の北2.7マイル付近にあり、接岸している。

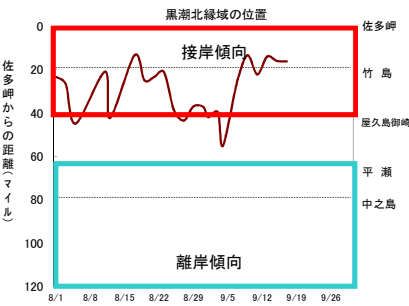
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月17日現在、34マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、与論で0.8℃昇温し、与路島で変わらず、その他の海域で0.1～0.9℃降温した。

平年比較では、竹島、甌海峡で“かなり高め”、黒潮流域、佐多岬、笠利崎、で“平年並”、その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.8	-0.7	+0.2	平年並
鹿児島	27.8	-0.6	+1.0	やや高め
佐多岬	27.3	-0.6	+0.1	平年並
竹島	28.5	-0.7	+0.9	かなり高め
屋久島御崎	28.5	-0.7	+0.6	やや高め
中之島	28.5	-0.1	+0.4	やや高め
笠利崎	27.8	-0.4	-0.3	平年並
与路島	28.9	+0.0	+0.7	やや高め
与論	29.0	+0.8	+0.7	やや高め
甌海峡	28.1	-0.9	+1.3	かなり高め

鹿児島一那覇定期客船観測は9/17-18
串木野一甌定期客船観測は9/17

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、サワ(300～400g)が4～5トン/日、ツムブリ(1.5kg)が1日のみ1トン、シラ(1～5kg)が300kg/日、カンパチ(700～900g)が多い日で100kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、1日のみヤマカマス(100g)が240kg、ゴマサハ(600～700g)が110kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でシラ(2.5～6kg)が470kg、カマス類(100g)が300kg、カンパチ(2～2.5kg)が100kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で29統がフリ、オキアジ、カマス類主体に17トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、アジ類、カンパチ主体に9.2トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～7箱/隻・日の漁。種子島海域では6～9箱/隻・日の漁。

○パショウカジキ情報

流し網では、西薩海域で20～35kgが2～10尾/日の漁。定置網では、西薩南部海域で18～30kgが20～25尾/日の入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～10kgを7～200尾/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ釣りの漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2773報)

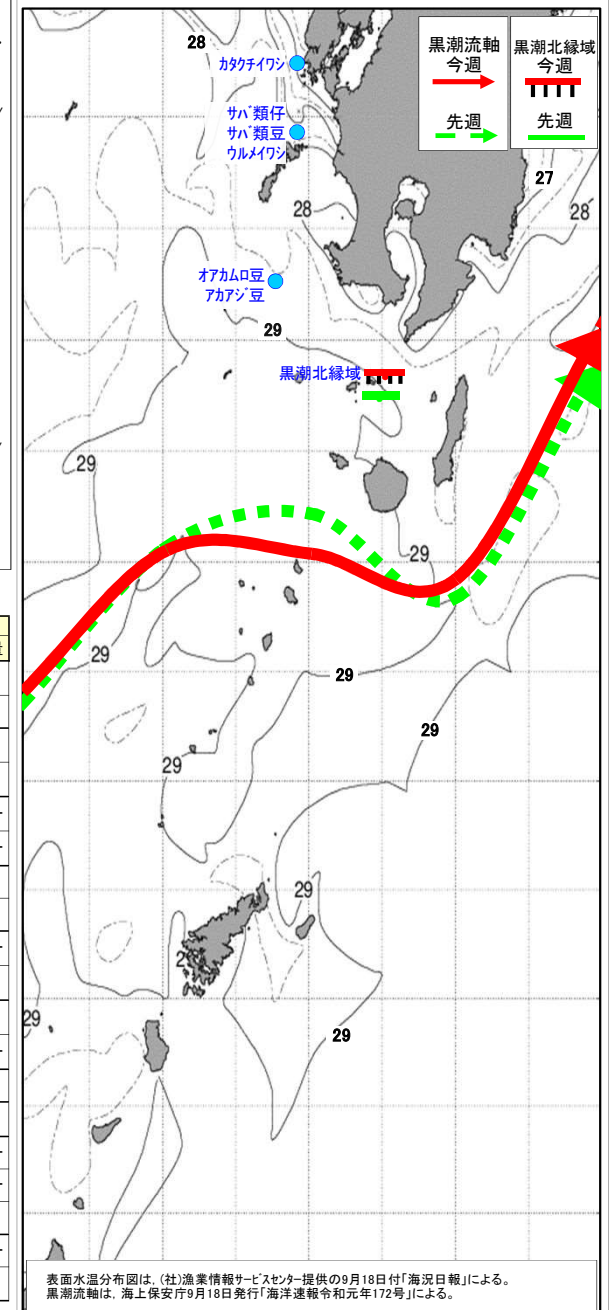
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	1	27	天草沖	26.7	3	120	1	61
		中	1	2	縄瀬	1.7	7	50	2	9
	枕崎	大	0	—		—	3	73	3	124
		中	1	3	津倉	2.5	6	82	3	62
	内之浦	中	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
計	大	1	27		26.7	6	193	4	184	
	中	2	5		2.5	13	132	5	72	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—		—	0	—	1	32	
棒受網	阿久根	0	—		—	15	13	25	51	
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	29	17	フリ37 オキアジ10 カマス類9	0.6	34	11	35	38	
刺網	阿久根	17	1	甌	0.0	37	4	13	2	
		大	0	—		—	0	—	0	—
カツオ釣り・海外旋網	枕崎	小	0	—		—	0	—	0	—
		海旋	1	27	キハダ100	26.8	4	2302	1	759
	山川	中	1	3	キハダ62 カツオ小38	3.0	0	—	0	—
		海旋	0	—		—	1	728	1	638

○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、中トビを10～54箱/統・日、セトビを2～4箱/統・日の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～1kg)を30kg/隻・日の漁。一本釣りでカンパチ(1～2kg)を20～30kg/隻・日の漁。刺網でマルアジ(150～250g)を15kg/隻・日、ヘダイ(0.6～1kg)を15kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを50～150kg/隻・日の漁。刺網でイセエビ(400～500g)を週計で10～20尾/隻の漁。かかり網でアサヒカニ(400～500g)を週計で20～300g/隻の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでハカツオ(1.5～3kg)を13kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でカヅリ(100～150g)を20kg/隻・日、ハモ(700g)を10kg/隻・日、コウイカ(200～300g)を5kg/隻・日の漁。刺網でイセエビ(200～500g)を5～10kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでハマダイ(1～5kg)を50～60kg/隻・日、アオダイ(1kg)を30～50kg/隻・日、カンパチ(3～10kg)を30kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの4日操業でキハダ(18～45kg)を18尾/隻の漁。一本釣りの3日操業でチウオ(1.5～2kg)を30～68kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月18日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁9月18日発行「海洋通報令和元年172号」による。